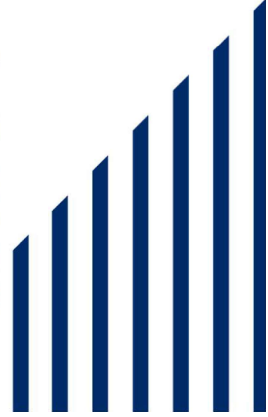




資料 3

ごみ減量のための施策の実施状況について



一般廃棄物処理基本計画における主な施策

	継続	短期	中期	長期	R5の取組み
紙ごみ、古着等		公共施設の回収日時の拡充、回収拠点の増加、利用しやすい環境の整備		↑	市役所環境務課・中央公民館で拠点回収を継続 中央公民館に古紙回収ボックスを増設
		雑がみや古着の回収業者の情報収集 雑がみや古着の回収団体数の増		↑	
生ごみ		生ごみの水切りについて啓発		↑	古紙等回収団体：83団体 回収団体と契約する回収業者の確認
		周知・啓発の強化		↑	
食品ロス		市民や飲食店に食品ロスの発生抑制に向けた働きかけや支援 フードドライブ活動支援		↑	食品ロス削減についてコミニティラジオ・広報紙・HP等で周知 引き継ぎフードドライブ活動を支援
		周知・啓発の強化		↑	
プラスチックごみ		ワンウェイプラスチックの排出抑制の周知啓発		↑	コミニティラジオ等で啓発 推進員会議研修で啓発
		周知・啓発		↑	
官民が取組む3Rの働きかけ		ごみを発生させない製品の販売や製品がリサイクルされやすい仕組みなどを紹介		↑	ペットボトルのボトルtoボトルの取組を継続 リユース促進のため「おいくら」「ジモティー」と連携協定を締結
		情報収集・情報提供		↑	

育てる

● 3Rの推進に向けた協働・体制づくり

・リユースの手段を増やし、不用品をごみとして排出する前にリユースを検討してもらえよう、新たに民間事業者（R5.6～「おいくら」・R5.8～「ジモティー」）と連携

● ジモティーの利用状況 （長岡京市内を取引場所とする投稿数）

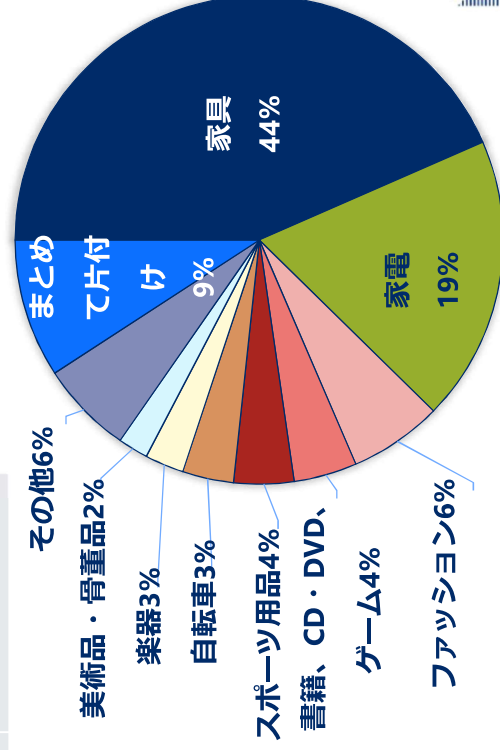
・月400件程度



● おいくらの利用状況（H P 経由の依頼数）

	令和5年度 (1月末現在)
依頼数	216件
依頼商品数	502個

おいくら依頼商品カテゴリ内訳



● 再使用の取組

- ・リユースショップ実行委員会の活動支援

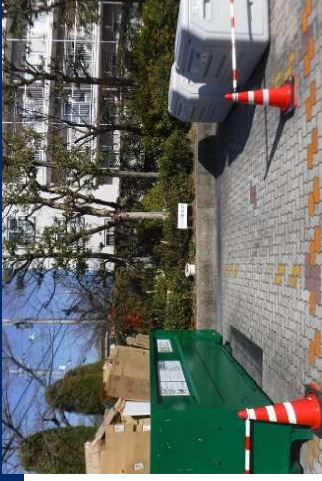
環境フェア（11月）でのリユースショップ運営支援

	令和4年度	令和5年度
販売点数	528点	668点
重量	211.7kg	189.7kg
削減した CO2	88kg	79kg



減らす

● 紙ごみの減量



市役所・公民館での古紙等拠点回収

	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (1月末)
市役所	73 t/年	90 t/年	93 t/年
中央公民館	12 t/年	52 t/年	56 t/年
計	85 t/年	142 t/年	149 t/年

中央公民館に古紙回収ボックスを増設

減らす

● 紙ごみの減量

古紙等集団回収活動の助成

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加団体	80団体	82団体	83団体
内古繊維回収団体	35団体	42団体	38団体
古紙等回収量	1,682 t/年	1,679 t/年	1,502 t/年
内古繊維回収量	73 t/年	69 t/年	60 t/年

減らす

● 食品ロスの削減

フードバンク長岡京の活動支援



フードドライブ活動の支援（活動場所提供）

賞味期限の近い防災備蓄の寄付 など

市役所でのフードドライブ活動実績

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (2月末現在)
寄付者数	151人	165人	136人
寄付点数	1,018個	1,734個	1,089個
寄付重量	234kg	438kg	315kg

長岡京市

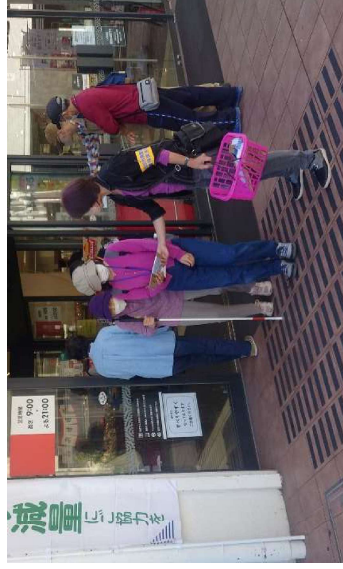
減らす

● 厨芥類の削減

保育所給食・学校給食の資源化

水切り等による生ごみの削減

水切り袋配布による啓発活動



● 分かりやすく正確で便利な情報の提供

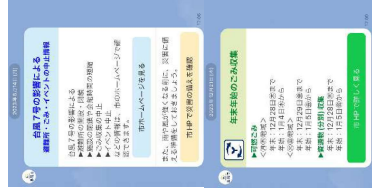
広報紙



ホームページ



LINE



アプリ



● 環境教育の充実

出前講座 (1回)

保育所・小学校への出前授業 (14回)



育てる

- 市民・事業者・行政が連携した取り組み

エコタウン活動の推進

地域のごみ減量活動の推進

廃棄物減量等推進員への研修



長岡京
かしこ暮らしっく

育てる

- 3Rの推進に向けた協働・体制づくり

サントリーグループとのペットボトル

ボトルtoボトルリサイクル (令和4年4月～)



長岡京
かしこ暮らしっく

考える

- 持続可能な収集・運搬・処理体制の検討

令和5年度

- ・ごみ収集を担当する職員（環境整備員）の減少に伴い、資源物収集の一部を直営から業務委託に変更
- ・粗大ごみLINE受付でオンライン決済開始

考える

令和6年度から実施予定

- ・資源物の祝日収集を開始

（ただし、ゴールデンウィークと年末年始を除く）

→ 2 / 1 1（建国記念日）、3 / 2 0（春分の日）

に資源物の収集を実施します。